

<色彩基礎 2>

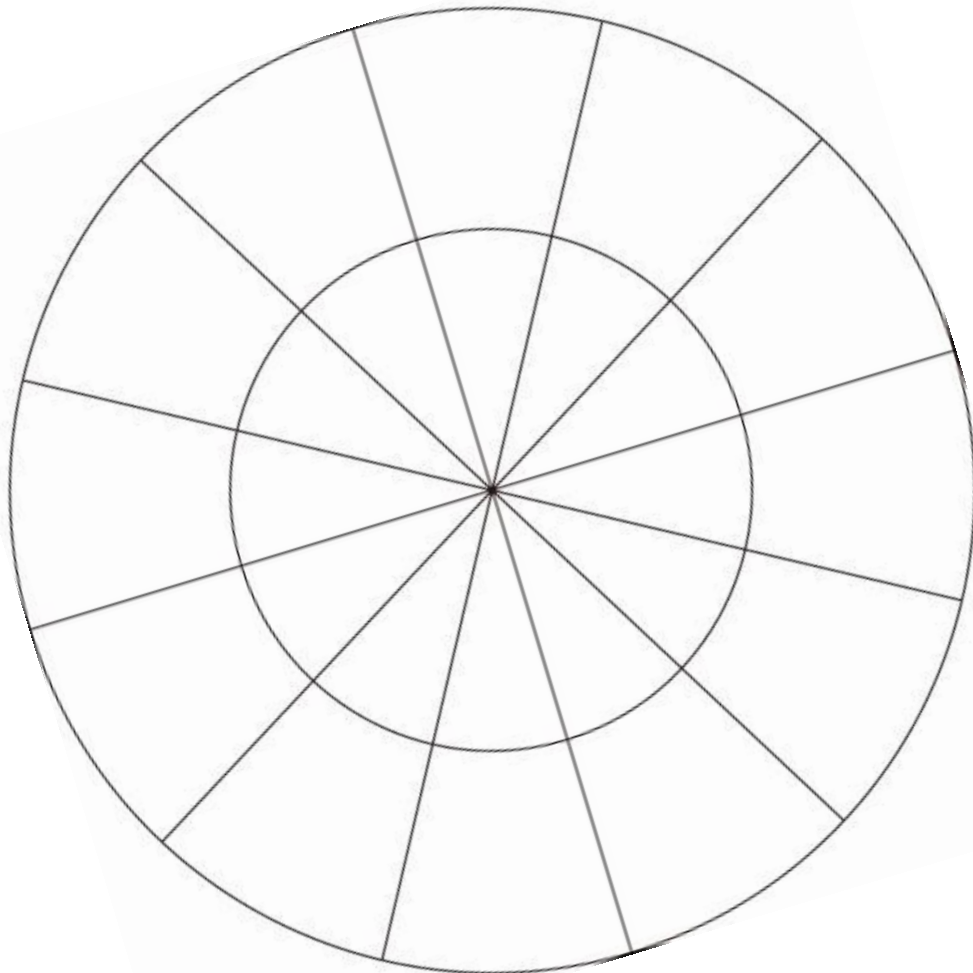
- ・純色（じゅんしょく）…各色相で最もあざやかな色
- ・明清色（めいせいしょく）…純色に無彩色の白だけを混ぜた色
- ・暗清色（あんせいしょく）…純色に無彩色の黒だけを混ぜた色
- ・濁色（だくしょく）…純色に無彩色の白と黒（灰色）が混ざった色

○12色相環（しきそうかん）…下の色相環の輪の内側に色の名前、外側は色を塗りましょう。

絵の具の三原色があれば、どんな色でも作ることはできます。しかし三原色だけでは常に色を混ぜる必要があります。そこで基本的な色として、この色相環の12色が選ばれました。実際の絵の具セットには、この12色と白・黒・茶が組み合わせられることが多いです。白と黒は無彩色なので、色相環には入りません。また茶は土や木の色として使われますが、実は「だいたい」に黒を混ぜた色のため、茶と「だいたい」は同じ色相です。

☆補色…色相環の反対にある色。

○美術の教科書P.56の12色相環を見ながら、同じように色鉛筆で塗りましょう。一番上が「きいろ」右となりが「黄緑」という順番を間違えないようにしましょう。



*1つの色を見つめていると、残像には補色があらわれます。（補色残像）

年 組 番 名 前